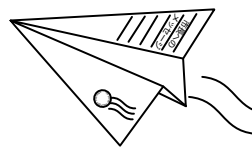


市長へのメッセージ

投稿ありがとうございました。

市民の皆さんの声を聴くために募集しました「市長へのメッセージ」の受付は、7月31日をもって終了しました。20通の投稿があり、ご意見、ご提案などいただいたメッセージの中から、広く市民の皆さんにお知らせしたいものを掲載します。



旧町の郷土誌が古くなったので、南九州市郷土誌を作成してみようだろうか。

市立図書館では、地域の歴史と文化を記録し、将来の郷土誌につながることも念頭に置いて、「南九州市薩南文化」を毎年編さんしています。内容は、地域の歴史、時事、生活様式研究、地域行事、戦争などの聞き取り、産業、歴史研究、地域の写真などを掲載し、本年度は、南九州市の年譜を掲載する予定ですが、これらは電子データとして保存していますので、活用が容易です。郷土誌は、これまでおおよそ20年間隔で編さんしていますので、市政20周年で発行したいと考えています。

私は市内に土地を持っている者です。家を解体したら草も生えるし、税金もかかります。市でどうにかできないでしょうか。

本市への財産寄附について

は、市公有財産管理規則に基づき寄附を希望する方が寄附申込書などを市長へ提出することになっています。寄附申込書を受理後、市は、今後の活用策の有無を協議し、その結果に基づき寄附受納（不受納）決定通知書を申込者へ通知しています。

しかしながら、現在、市は大変厳しい財政状況の中にあり、経費節減と併せ、今後活用が見込まれず遊休地となっている市有財産の処分を計画的に実施していますので、寄附申込書を提出していただいても、申込者の意志に添えず不受納となる案件が多い状況です。ご理解ください。

穎娃町郡地区にあるジョイフル近くの信号交差点内や耳原自治会に設置されている農業イラストマップが、古く見づらくなっています。このマップ近くで道を探ねられました。道順も説明できませんでした。今はカーナビやスマートフォンで簡単に道案内される時代ですが、観光地、

特産物、国道、市道などが表示されたマップに更新できないでしょうか。

農業イラストマップは、穎娃地域の農林水産物を観光客などに広く紹介するため、平成4年に設置したものです。耳原のマップについては、比較的傷みも見受けられないことや、穎娃地域の入口に立てられているため、現状のまま活用したいと考えています。一方、郡地区のマップについては、傷みも激しく指宿方面からの南九州市の入口に立てられているため、市全体のイラストマップとして更新したいと考えています。

匿名の方のメッセージについては、詳細な内容がわからず回答できないものがあり、対応に苦慮しております。個人情報保護は厳守しますので、住所、氏名などを、ご記入くださるようお願いいたします。

人権擁護委員

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティアです。

現在、国民の権利意識の向上、社会生活の複雑化、価値観の多様化などを反映して人権相談の内容は多方面にわたりますが、全体の半数以上が人権擁護委員によって行われています。南九州市では9人の人権擁護委員が活動しています。

『わくわくじんけんルーム』
ちらん平和保育園で開催された『わくわくじんけんルーム』では、園児たちは、人権擁護委員の方による紙芝居やKENまもる君・あゆみちゃんとの握手・記念撮影など楽しいひと時を過ごしました。終わりに「これからも、優しい心を持って、お友だちと仲良くします」と約束してくれました。

